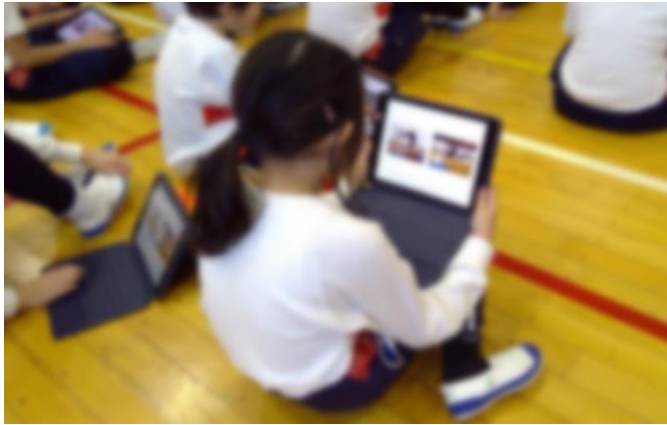


ねらいにせまるための指導の工夫



① 個に応じた指導・援助の工夫



児童一人一人のタブレット端末に、教師の示範の映像を配信することが、自分のペースに合わせて本時の課題をつかむ姿につながりました。その中には、児童が映像を拡大したりスロー再生したりする姿、見たい部分でストップし体の動きをつかもうとする姿がありました。

② ICTを活用した児童の学習状況の把握



体の側面に赤いガムテープをつけて、跳び箱の横から撮影することで、動きを高めるためのポイントが焦点化され主体的な練習につながりました。